



個性の集合体。それが石産協。

一般社団法人 日本石材産業協会 会長 ^{いばかつゆき} 射場一之

あけましておめでとうございます。みなさん、どのように新年を迎えられましたでしょうか。私はと言えば、実は12月20日に引っ越しました(同じような築年数の賃貸マンションです)。2階のわが家の玄関を開けると、そこには塀越しに隣のお寺の墓地が広がっています。真正面には昨年「墓参るDAY♪」という曲をリリースされた嘉門タツオさんが建てたお墓があります。

昨年の漢字には「災」という字が選ばれました。記録的な大雪、大阪北部地震、西日本豪雨、災害級の暑さ、北海道地震、台風21号・24号。改めまして被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。私は昨年の地震で、本当に多くの石産協の仲間に助けられました。地震の被害のなかった大阪南部をはじめとする近畿地区の会員のみなさまには、大変お世話になりました。また、遠くは岡山や愛媛、島根の会員さんにも応援に来ていただきました。さらには、北は北海道から南は九州まで、本当にたくさんの会員さんや関係団体の方々からお見舞いのご連絡をいただきました。これらはすべて、石産協の活動を通して知り合ったみなさんです。「石産協に入っていて、本当に良かった」今回の震災で、心からそう思いました。もし石産協に加盟していなければ、得られなかった応援だったと思います。何も困ったことがないときには、石産協の会員メリットを感じることは少ないかもしれません。しかし、本当に困った時に得られる応援。これこそ、石産協の会員メリットの最たるものだと、私は痛切に感じました。急速に墓石離れが進む経済不況のなか、各々の考えを活かしながら力を合わせて、石材業界を盛り上げていく。この個性の集合体が石産協です。業界の復興は、さまざまな役割の人が集まり、それぞれの分野、立場で個性を発揮しながら、力を合わせるによってなされてゆくのだと思います。納入者・お得意先など分野、立場の違いはあっても、互いに個性、特性を尊重し、励まし合い、連帯を強めながら、業界発展に努めてまいりましょう。生きてきた環境が違えば、見えている世界だって違うかもしれません。しかし、お互いが真剣に業界の健全な発展を目指すならば、あらゆる見解の違いを超えて力を合わせることが可能はずです。大きなつり橋を吊り上げているケーブルは太いけれど、中の一本一本は決して太いものではありません。しかし、それが束ねられると大変に大きな力を発揮します。私たちも一人ひとり小さな力であっても、力を合わせ、結束していけば、考えられないような大きな力を出せるはずです。消費者に媚(こ)びず、時代のうねりに動ぜず、凜(りん)として「お墓参りという習慣を持つ暮らしの豊かさ」と、「石という素材の持つ魅力と多様性と可能性」を発信してまいりましょう。

末筆となりましたが、会員のみなさんのご健勝とご多幸、そして社運の隆盛を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

石材業界3団体の協力

一般社団法人 全国優良石材店の会 / 全国石製品協同組合
一般社団法人 日本石材産業協会

2018年12月27日(木) 東京都と業界3団体「災害協定」を締結

災害発生時、都立霊園における避難通路と緊急搬送車通行路の迅速な確保を可能にするため、東京都との災害協定を締結しました。



《3団体の協働》

全優石、全石協、石産協では「できることは一緒にしよう」という趣旨で、協議を継続しています。なお、3団体の実務執行者の調整役として、当会の佐野墓石部会長を選出いたしました。

1. **ポスターの配布** 『母の日参り』『お墓参りの日』等のポスターを、どこの組織にも属さない石材店に、商社・道具屋さんなどを通じ無料配布する。／各団体のロゴは入れない。／費用は折半。／たたき台は石産協広報委員会が作成する。
2. **市場調査** 今後、費用の掛かる市場調査等を合同で行い、調査結果をもとにメディア向けの結果発表会を行う。
3. **「津波記憶石」等の社会貢献事業** 今後、(必要性があり)可能であれば合同で行う。
4. **その他** メディア向けお墓講座の開催など。



北海道 支部の 活動



① さっぽろ雪まつり「市民雪像」への参加

雪の祭典「2017さっぽろ雪まつり」にて、「日本石材産業協会・有志の会」という名称で参加しました。応募数は11倍の狭き門となっておりますが、支部唯一の強運の持主によって当選！2年連続で実施できました。やっぱり寒いですが力を合わせて作りました。今年は残念ながら落選・・・。



② 勉強会「Sルーム」

知識向上を目的とした勉強会「Sルーム」です。さまざまな知識や情報の共有をはじめ、小さな悩みから業界のタイムリーな諸問題まで、課題を見つけ解決していくような、真面目かつ気軽に参加できる勉強会を開催しています。当会内外を問わず幅広い参加を呼びかけ、多くの考え方から抽出した意見をまとめながら、更なる参加者・会員へのフィードバック、支部事業への展開に向けた模索も考えていきます。



北海道は一年のうち約半分が雪のため、雪解けの4月から11月中旬までめいっぱい仕事に励み、雪のシーズンは支部の事業を集中的に行っています。地域が広範囲のため、交流を深める良い機会になっています。

③ 「全国お墓なんでも相談室」 with 石ハッピー展

今年度は3月14日(木)に開催します

「全国お墓なんでも相談室」と石の魅力を多くの消費者に訴えかける「石ハッピー展」を共催し、集客効果を高めます。また、支部単独で札幌市の後援をいただき、メディアで告知をしてもらいました。会場は札幌地下歩行空間「チカホ」。平日の通行量は8万5千人！施設レンタル料は一コマ7,200円と激安！コスパ最強です。



④ 「幸フクロウ運動」

今年度9代目の幸フクロウは釧路まりも学園です。台座に書いた「元気」の文字。児童のみなさんに元気を届けられたと思います。また、幸フクロウの健康診断で以前に寄贈した、函館国の子寮にアフターフォロー、施設象徴で今も卒業生とのレクリエーションの一部として有意義に使っていただいております。



⑤ 北海道支部 「HP」「Twitter」

支部独自でホームページを開設。Twitterもやっています。



⑥ 北海道支部交流会

「春の交流会」JC石材部会と交流会でした。そして「地区エリア交流会」in 帯広、「忘年会 with 本部広報委員会」などなど・・・。

東京都支部の活動



2020年東京オリンピック・パラリンピック会場視察ツアーの報告 2018年11月1日(木)

東京都支部の懇親を兼ねた視察ツアーを小山くにひろ東京都議会議員の案内で実施しました。視察コースは、東京都が所有している「新東京丸」に乗船し、東京湾からさまざまな競技会場やら選手村の建設現場を見学、その後、渋谷区にある新国立競技場の建設現場を見学しました。今回のコースは、小山議員の取り計らいで実現したツアーです。通常では見られない建設現場を視察できたことに感謝すると同時に2020年の本番への期待を沸き上がらせてくれる視察ツアーとなりました。また、視察ツアーで一日中支部会員と一緒に動きまわり、日頃話せないこともじっくりと話すことで会員間の交流が深まりました。今回の交流活動で深まった絆は、東京都支部が新たな事業へチャレンジする原動力となった気がします。
[広報委員 上野國光]



三上雄太郎さん

北海道
(有)三上石材工業所

『次の世代に繋げる』
若き四代目

21歳の時にふと家業を継ごうと決めて早7年。庵治と岡崎で5年間勉強させていただき、昨年4月に帰ってきました。庵治・岡崎と北海道では環境が違い、時に冬の工場の中の寒さは、生まれも育ちも北海道の私ですら、こたえるものがあります。そんな石も凍りついてしまうような環境でも、2018年で実家の三上石材が100周年を迎えることができました。曾祖父が初代、祖父が2代目、父が3代目、そして私が4代目となります。それにはこれまでに多くの先輩職人の技と知恵の継承、そして、地元の人々の支えがあった上での100周年だということが、帰ってきた今、地元のお客さまとの関わりを通して、先輩職人の指導を受け、ひしひしと感じることが出来ます。そうすると、私の目標として110年、120年、130年…と頑張っていくこととなりますが、それには私自身、仕事ができるようにならなければいけないので、早く一端の職人になれるように鋭意努力をしていき、さまざまな経験を経て、いずれは私も『次の世代に繋げる』ことができればと思います。

この想いを夢のバトンに託して、出来るだけ多くの人に手渡したい。

わたしの夢



功刀宇宙さん

東京都
太陽研磨材(株)

日本一の
営業マンを
目指す!

私は“甲子園に行くこと”が夢で、高校の3年間は野球に没頭する毎日でした。私の所属した野球部は、地元横浜では“強豪”と呼ばれるところであったため、試合で活躍すること以前に、背番号をもらう、そしてレギュラーになることからの闘いでした。毎日のキツイ練習や試合に出られないことで、体力的にも精神的にも辛いものでした。最終的には、甲子園に行くことは叶いませんでしたが、目標や夢があったことで、最後までやり遂げることができたと思っています。社会人になって、縁あって石材関連商社の営業マンを勤めていますが、高校時代に野球で培ったことを糧に、今度はこの業界で明るいキャラを活かしながら、誰からも頼られる営業マンになることが、今の私の夢です。

日中墓石交流会

2018年11月11日(日) 中国福建省 崇武 西沙湾假日酒店



〈中国側からの報告〉

10月31日現在、福建省の工場現在は148軒。2017年12月より25軒減っており、1月～9月までの通関実績も2017年同期よりも重量で57.11%減少。また政府による莆田、泉州台投区、海滄、そして同安、集美、翔安の集中工業区以外の工場に対して閉鎖命令があった。それ以外の工場に対しても環境改善に力を入れるため検査が厳しくなっていると報告。

〈日本側の報告／吉川部会長〉

日本の花こう岩製品輸入量の実績は2013年から2017年にかけて、重量は約36.3%減少、金額は約41.5%減少。また埋葬の多様化、墓地・墓石の小型化、「墓じまい」の増加などをデータに基づき報告。

会議前日は、今後の生産拠点として期待される湖北省において湖北#603、湖北#623、九英藍の採石場と麻城の巨大な工業団地を見学。会議翌日は環境改善と品質向上のために設備投資をしている崇武の有志石材工場の見学が行われ、今後の墓石市場と将来の生産拠点を占う上での盛り沢山の内容となりました。

参加者申込みSTART!!

第11回 石材加工講習会 in 京都

2019年2月6日(水) 京都府 三和研磨工業(株)本社

毎年関東・関西で、石材加工への理解を深め、日々の仕事に役立てていただくことを目的とし開催しています。関東会場同様、手加工と電動工具を用いた加工技術で一輪挿しを作成。個人の技能に合わせ、細かく、丁寧な指導を行います。このチャンスを見逃しなく！*作品はお持ち帰りいただけます。(詳細同封)

第3回 国産銘石アドバイザー研修 瀬戸内編 その2

備中青みかげ・万成石
2019年3月6日(水)・7日(木)

日本を代表する色石産地の岡山で、マジメにそして楽しく学べる研修を企画します。「いつまで価格競争しますか？」真髓に迫る切り口で、営業初心者からベテランまで、販売力を高めたい方の参加をお待ちしています。(詳細同封)

東北地区全体会議 in 山形

2019年3月1日(金)
山形県 旅籠町にぎわい拠点「guraグラ」

今年度の東北地区全体会議は山形市で開催します。「お墓ばなれ」を供養業界全体の課題の一端として捉え、とりわけ「寺ばなれ」との強い関連性を認識した上で、講師として、現在の社会背景を分析し、お寺のサポートを実践する(一社)お寺の未来 代表理事 井出悦郎氏を迎え、セミナー&テーブルディスカッションを実施します。ぜひご参加ください。(詳細同封)

お墓
ディレクター
NEWS

お墓ディレクター1級取得者研修会

2019年2月20日(水)・21日(木) 新大阪丸ビル別館5F

みなさま、よいお正月を過ごされましたでしょうか。
2019年は5月の改元や10月の消費税率アップなど、忙しくなる予感バリバリです！素敵な一年にしましょう！

まずは、毎年恒例1級取得者研修会開催のお知らせです。今年は関西の超有名人、田辺真人先生(ラジオ関西番組やサンテレビご出演など)にご縁をいただき、講演をお願いしています。先生のご専攻は歴史学・比較文化論で、阪神間では「宝塚検定」や「三田ビール検定」など、地元で根ざした活動を立ち上げられた経歴をお持ちです。今年のテーマは「『温故知新』から『裂古破今』の時代へ」。歴史や地域、民俗学の観点から、日本人がどのように石と関わってきたか学びます。常識そのものがものすごいスピードで変わっていく今の時代、古いしきたりや決まりごとだけでは対応しきれないほど「供養」に対する考え方も変化しています。また、「個」の時代に生きる世代へ、どうアピールしていくのか?!自由で多様な考え方の時代にうち克つヒントになりますよ! 2日目は田辺先生ナビゲーターで、神戸市垂水区の古代～現代お墓見学ツアーです。定員20名です。1級取得者限定ですので、ご希望の方はお早めにお申込みください。そして、検定試験で1級にチャレンジするみなさま、来年はぜひこの研修会で会いましょう。
Good Luck! [お墓ディレクター委員 塩田 結]



講師:
田辺真人氏



今月のイチオシ



「日本人のお墓」
1集・2集セットで
¥3,240(税込)

3月31日までお得な価格で販売中。この機会にぜひGet!!

事務局より

第10回定時総会 決定!
2019年6月21日(金)
ホテルアソシア静岡

みんな集まれ!
今年の総会は、ふじのくに静岡
テーマ「継続と革新 新しい時代のはじまり、残すもの・変えるもの...」伝え続けること、そして変えていくことをみなさんで話しませんか。

広報委員会より

新年おめでとうございます。
昨年は、大雪、豪雨、台風、猛暑、地震...と自然災害が多く発生した年となりました。しかし我々は、その自然がもたらす影響からさまざまなことを学びました。それは、与えられた位置に安易に依拠せず、求められる役割と行動を自ら考え行動したことです。

今年は、イノシシ、猪突猛進で突き進むイメージが強いのですが実際は...「新たな生命が宿る」年、どんな相手にも向かっていく「勇気や冒険」の年、またイノシシの肉は万病に効くという言い伝えから「無病息災」の年と言われます。平成が終わり、新たな時代に入ります。我々石産協は「和衷協同」の精神で石材業界に突き進むべき時が訪れたのではないかと思います。
[広報委員会メンバー 一同]

石産協HP(会員ページ)
ログインID:groupjapan
パスワード:oeRGc8

石産協通信は
webでも
閲覧できます。



石を愛するコミュニティ

一般社団法人
日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel:03-3251-7671 Fax:03-3251-7681
http://www.japan-stone.org/
企画・編集・発行:広報委員会

編集者:広報委員 永谷吉局

消費増税について

2016年1月の衆議院予算委員会で水野賢一議員の「各業界にとっては自分のところの商品が対象になるか否かは死活問題。陳情合戦になる恐れがあり、それが政官業の新たな癒着につながるのではないか」という質問に対して安倍総理が「陳情合戦の結果、税制そのものを歪めることはあってはならない。陳情によって政策を歪めることはない」と答弁していました。また、以前経済産業省の担当者に聞いた時も「(墓石が軽減税率の対象になることは)ありえませんが」との見解を得ていました。さらにこの件に関して、葬儀社の全国団体である全葬連(全日本葬祭業協同組合連合会)、仏壇業者の全国団体である全宗教(全日本宗教用具協同組合)が政治連盟などにどのような働きかけをしているのかを聞きました。全葬連では政治連盟の議員から「軽減税率をご葬儀に適用するのは違うでしょう」というようなことを言われたそうです。また、全宗教でも「お仏壇を軽減税率の対象に」という運動はしていないとのことでした。なお、ご承知と思いますが、「経過措置」により増税施行日の半年前(2019年3月31日)までの契約であれば、完成・引き渡しが2019年10月1日以降となっても消費税は8%のままです。各企業にて準備を進めてください。[射場一之]

事業案内 1月~3月

ホームページにカレンダーが掲載されています。

▶ 1月17日(木)・大阪府

第2回 墓石の公正競争規約
発起人会

▶ 1月21日(月)・東京都

第6回 正副会長会議

▶ 1月23日(水)・全国6会場

第15回
お墓ディレクター検定試験

▶ 2月14日(木)・東京都

第3回 理事会

▶ 3月1日(金)~2日(土)・山形県

東北地区全体会議 in 山形

▶ 3月12日(火)・東京都

第7回 正副会長会議

新入会員紹介

会員数:1,193名(2018.12.6現在)

東京都



株式会社環境プロジェクト
会員代表:立川和徳
設立:平成22年10月
業種:墓石

部会・委員会活動 1月~3月

▶ 1月11日(金)・愛知県

建築環境部会

▶ 1月16日(水)・東京都

予算編成委員会

▶ 1月17日(木)・大阪府

公正競争規約推進委員会

▶ 1月22日(火)・東京都

顧客満足推進委員会

▶ 1月24日(木)・東京都

お墓ディレクター委員会

▶ 2月6日(水)・京都府

第11回 石材加工講習会

▶ 2月13日(水)・東京都

墓石部会 / 広報委員会 /
顧客満足推進委員会

▶ 2月15日(金)・東京都

採石・加工合同部会 / 輸入卸商部会

▶ 2月20日(水)~21日(木)・大阪府

お墓D1級取得者研修会

▶ 2月26日(火)・東京都

関連部会

▶ 3月6日(水)~7日(木)・岡山県

第3回 国産銘石アドバイザー研修

ishiku
石工男子
49Dc

LINE
スタンプ
ポーズ案

利用開始は来年!

たくさんのご応募ありがとうございました!

応募いただいた内容はユーモアあふれ、だれもが使えるものから、石屋ならではのマニアックなものまで幅広いバリエーションでした。すでに委員会での抽選は済みしたので、来年のアップロードと利用開始を楽しみにお待ちしております。

